



設定およびインストールのワークフロー

- [設定ワークフローの目的 \(1 ページ\)](#)
- [前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [展開およびインストールのワークフロー \(3 ページ\)](#)

設定ワークフローの目的

オンプレミス展開を設定してインストールするためのプロセスの概要を示す設定とインストールのワークフロー。Cisco Jabberを展開してインストールする前に、『[Install and Upgrade Guides](#)』で『[Cisco Jabber Planning Guide](#)』を参照して、ビジネスニーズに最適な展開オプションを決定してください。

前提条件

- サーバのインストールが開始され、アクティブである必要があります。
- [必須サービスの有効化と開始 \(1 ページ\)](#)
- [デバイス用の Cisco Options Package ファイルのインストール \(2 ページ\)](#)

必須サービスの有効化と開始

必須サービスにより、サーバ間の通信が可能になり、クライアントにさまざまな機能が提供されます。

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified IM and Presence のサービスアビリティ (Cisco Unified IM and Presence Servicability)] インターフェイスを開きます。

ステップ2 [ツール (Tools)]>[コントロールセンターの機能サービス (Control Center - Feature Services)]
を選択します。

ステップ3 [サーバ (Server)]ドロップダウンリストから適切なサーバを選択します。

ステップ4 次の各サービスが開始され、かつ有効になっていることを確認します。

- Cisco SIP Proxy
- Cisco Sync Agent
- Cisco XCP Authentication Service
- Cisco XCP Connection Manager
- Cisco XCP Text Conference Manager
- Cisco Presence Engine

ステップ5 [ツール (Tools)]>[コントロールセンターのネットワーク サービス (Control Center - Network Services)]を選択します。

ステップ6 [サーバ (Server)]ドロップダウンリストから適切なサーバを選択します。

ステップ7 Cisco XCP Router Service が実行されていることを確認します。

デバイス用の Cisco Options Package ファイルのインストール

Cisco Unified Communications Manager で Cisco Jabber をデバイスとして使用できるようにするには、ご使用のすべての Cisco Unified Communications Manager ノードにデバイス固有の Cisco Options Package (COP) ファイルをインストールする必要があります。

サービスが中断されないように、この手順は使用率が低い時間帯に行ってください。

COP ファイルのインストールに関する一般的な情報については、お使いのリリースに対応した『Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide』の「Software Upgrades」の章を参照してください。

手順

ステップ1 デバイスの COP ファイルをダウンロードします。

a) デバイスの COP ファイルを配置します。

- [ソフトウェア ダウンロード サイト](#)に移動します。
- ご使用のリリースに対応したデバイスの COP ファイルを配置します。

b) [今すぐダウンロード (Download Now)] をクリックします。

c) MD5 チェックサムを書き留めます。

この情報は、後で必要になります。

d) [ダウンロードを進める (Proceed with Download)] をクリックして、手順に従います。

- ステップ 2** Cisco Unified Communications Manager ノードからアクセス可能な FTP または SFTP サーバに COP ファイルを配置します。
- ステップ 3** Cisco Unified Communications Manager クラスタ内のパブリッシャ ノードにこの COP ファイルをインストールします。
- [Cisco Unified OS の管理 (Cisco Unified CM Administration)]インターフェイスを開きます。
 - [ソフトウェアアップグレード (Software Upgrades)]>[インストール/アップグレード (Install/Upgrade)]を選択します。
 - COP ファイルの場所を指定し、必要な情報を入力します。
詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。
 - [次へ (Next)]を選択します。
 - デバイス COP ファイルを選択します。
 - [次へ (Next)]を選択します。
 - 画面に表示される指示に従います。
 - [次へ (Next)]を選択します。
処理が完了するまで待ちます。このプロセスには、時間がかかる場合があります。
 - 使用率が低いときに Cisco Unified Communications Manager をリポートします。
 - システムが完全にサービスに復帰するまで待機します。
- (注) サービスの中断を避けるために、各ノードのサービスがアクティブな状態に戻ったことを確認してから、次のサーバでのこの手順を実行するようにしてください。
- ステップ 4** クラスタ内の各サブスクリバ ノードに COP ファイルをインストールします。
パブリッシャ ノードのときと同じ方法で、ノードのリポートなどの手順を実行します。

展開およびインストールのワークフロー

- [UC の完全な展開 \(4 ページ\)](#)
- [Jabber IM のみの展開 \(5 ページ\)](#)
- [電話専用モードの展開 \(6 ページ\)](#)
- [電話モードの展開 \(連絡先を使用\) \(7 ページ\)](#)

UC の完全な展開

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/jabber-windows/products-installation-guides-list.html で『Cisco Jabber Planning Guide』を参照してください。	<ul style="list-style-type: none"> 展開シナリオを選択します。 要件を検証して、それらが満たされていることを確認します。 連絡先ソースを確認して、使用する連絡先ソースを決定します。
ステップ 2	デフォルトサービスプロファイルを作成する	サービスを追加するためのサービスプロファイルを作成します。
ステップ 3	連絡先ソース	ユーザの連絡先ソースを設定します。
ステップ 4	インスタントメッセージングとプレゼンス サービスの設定	Cisco Unified Communications IM & プレゼンス サービスを設定します。
ステップ 5	ボイスメールの設定	ユーザのボイスメールを設定します。
ステップ 6	Webex 会議の設定	Webex Meetings サーバを使用して会議を設定します。
ステップ 7	CTI サービスの設定	CTI サービスを設定し、Jabber にユーザーに関連付けられているデバイスを提供します。
ステップ 8	ユーザ (Users)	Jabber のユーザを設定します。
ステップ 9	ソフトフォンの設定	ユーザ用のソフトフォンデバイスを設定します。
ステップ 10	デスクフォン制御の設定	デスクフォンデバイスを作成し、機能を有効にします。
ステップ 11	拡張および接続機能の設定	リモートデバイスへのコールを拡張するためにユーザにオプションを設定します。
ステップ 12	サービス ディスカバリの設定	ユーザのサービス ディスカバリ オプションを選択します。
ステップ 13	証明書検証の設定	各サーバの必要な証明書を設定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 14	クライアントの設定	クライアント設定ファイルに含める機能を選択します。
ステップ 15	Cisco Jabber アプリケーションおよび Jabber ソフトフォンの VDI 用の展開	ユーザのためのクライアントのインストール方法を選択します。

Jabber IM のみの展開

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/jabber-windows/products-installation-guides-list.html で『Cisco Jabber Planning Guide』を参照してください。	<ul style="list-style-type: none"> 展開シナリオを選択します。 要件を検証して、それらが満たされていることを確認します。 連絡先ソースを確認して、使用する連絡先ソースを決定します。
ステップ 2	デフォルトサービスプロファイルを作成する	サービスを追加するためのサービスプロファイルを作成します。
ステップ 3	連絡先ソース	ユーザの連絡先ソースを設定します。
ステップ 4	インスタントメッセージングとプレゼンス サービスの設定	Cisco Unified Communications IM & プレゼンス サービスを設定します。
ステップ 5	Webex 会議の設定	Webex Meetingsサーバを使用して会議を設定します。
ステップ 6	ユーザ (Users)	Jabber のユーザを設定します。
ステップ 7	サービス ディスカバリの設定	ユーザのサービス ディスカバリ オプションを選択します。
ステップ 8	証明書検証の設定	各サーバの必要な証明書を設定します。
ステップ 9	クライアントの設定	クライアント設定ファイルに含める機能を選択します。
ステップ 10	Cisco Jabber アプリケーションおよび Jabber ソフトフォンの VDI 用の展開	ユーザのためのクライアントのインストール方法を選択します。

電話専用モードの展開

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/jabber-windows/products-installation-guides-list.html で『Cisco Jabber Planning Guide』を参照してください。	<ul style="list-style-type: none"> 展開シナリオを選択します。 要件を検証して、それらが満たされていることを確認します。 連絡先ソースを確認して、使用する連絡先ソースを決定します。
ステップ 2	デフォルトサービスプロファイルを作成する	サービスを追加するためのサービスプロファイルを作成します。
ステップ 3	ボイスメールの設定	ユーザのボイスメールを設定します。
ステップ 4	Webex 会議の設定	Webex Meetingsサーバを使用して会議を設定します。
ステップ 5	CTI サービスの設定	CTIサービスを設定し、Jabber にユーザーに関連付けられているデバイスを提供します。
ステップ 6	ユーザ (Users)	Jabber のユーザを設定します。
ステップ 7	ソフトフォンの設定	ユーザ用のソフトフォンデバイスを設定します。
ステップ 8	サービス ディスカバリの設定	ユーザのサービス ディスカバリ オプションを選択します。
ステップ 9	証明書検証の設定	証明書は、Jabber クライアントが接続するサービスごとに必要です。
ステップ 10	クライアントの設定	クライアント設定ファイルに含める機能を選択します。
ステップ 11	Cisco Jabber アプリケーションおよび Jabber ソフトフォンの VDI 用の展開	ユーザのためのクライアントのインストール方法を選択します。

電話モードの展開（連絡先を使用）

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/jabber-windows/products-installation-guides-list.html で『Cisco Jabber Planning Guide』を参照してください。	<ul style="list-style-type: none"> 要件を満たしていることを確認 用する連絡先ソースを決定します。
ステップ 2	デフォルトサービスプロファイルを作成する	サービスを追加するためのサービスプロファイルを作成します。
ステップ 3	連絡先ソース	ユーザの連絡先ソースを設定します。
ステップ 4	Q&A の管理プレゼンスの設定	ユーザがクライアントにプレゼンスを持つかどうかを選択します。
ステップ 5	インスタントメッセージの設定の無効化	連絡先の展開により、この電話モードのインスタントメッセージを削除します。
ステップ 6	ボイスメールの設定	ユーザのボイスメールを設定します。
ステップ 7	Webex 会議の設定	Webex Meetingsサーバを使用して会議を設定します。
ステップ 8	CTI サービスの設定	CTIサービスを設定し、Jabber にユーザーに関連付けられているデバイスを提供します。
ステップ 9	ユーザ (Users)	Jabber のユーザを設定します。
ステップ 10	ソフトフォンの設定	ユーザ用のソフトフォンデバイスを設定します。
ステップ 11	デスクフォン制御の設定	デスクフォンデバイスを作成し、機能を有効にします。
ステップ 12	拡張および接続機能の設定	リモートデバイスへのコールを拡張するためにユーザにオプションを設定します。
ステップ 13	サービス ディスカバリの設定	ユーザのサービス ディスカバリ オプションを選択します。
ステップ 14	証明書検証の設定	各サーバの必要な証明書を設定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 15	クライアントの設定	クライアント設定ファイルに含める機能を選択します。
ステップ 16	Cisco Jabber アプリケーションおよび Jabber ソフトフォンの VDI 用の展開	ユーザのためのクライアントのインストール方法を選択します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。